

国際金融公社（IFC）

ー農業/脱炭素関連の取組みー



IFC東京事務所長

横山 正

2026年7月9日

世界銀行グループの中で、民間セクター開発を担うIFC



WORLD BANK GROUP

国際復興開発銀行 IBRD

International Bank
for Reconstruction
and Development

設立：1945年

中所得国および信用力のある貧困国に、

- 融資
- 保証
- アドバイザリー

を提供

国際開発協会 IDA

International
Development
Association

設立：1960年

最貧国の政府に

- 無利子融資
- 無償資金

を提供

国際金融公社 IFC

International
Finance
Corporation



マクタール・ディオップ
IFC長官

設立：1956年

加盟国（186カ国）の民間企業を対象に、

- 融資
- 出資・準出資
- 案件組成支援（アップストリーム）
- リスクマネジメント
- アドバイザリー
- アセット・マネジメント

などのサービスを提供し、民間主導の開発を促進。

* 1988年に東京事務所を設置。

多数国間投資 保証機関 MIGA

Multilateral
Investment and
Guarantee Agency

設立：1988年

加盟国に本部を置く多国籍民間企業に

- 政治リスク保険
- 信用補完

を提供し民間投資における政治的（非商業）リスクの軽減

投資紛争解決 国際センター ICSID

International
Centre for
Settlement of
Investment
Disputes

設立：1966年

国際投資紛争の調停と仲裁を行う場を提供

世界銀行グループの目標、戦略、開発成果向上に向けた取り組み

世界銀行グループとして途上国の貧困削減と繁栄の共有促進を図るため、貧困撲滅のための最も持続的な手段である**雇用の創出**を明確な目標として掲げ、「**より多くの、より良い雇用の創出**」に引き続き注力。

WBG雇用創出戦略：雇用創出のエコシステム醸成

1. 基盤インフラの構築
2. ビジネスを促進する規制環境の整備
3. 民間企業の事業拡大支援

5つの 重点分野

1

インフラ及び
エネルギー



2

小規模農業・
アグリビジネス



3

保健医療



4

観光



5

高付加価値
製造業



世界銀行グループのスコアカードによる開発成果の追跡

<https://targets.worldbank.org/en/home>

- 世界銀行グループ全体の取組に対する成果を図るため、2024年にスコアカードを刷新。透明性、説明責任、インパクトを重視し、投資額だけでなく開発インパクトを優先課題に沿った22の成果指標を選定。
- 気候変動対策・農業分野ではGHG排出量、食糧・栄養の安全保障、気候リスクへの強靱性等に関する項目を設定。
- GHG排出削減量の2025年度実績予想として、**世界銀行グループとして3.32億トン、うちIFCでは約1億トンのGHG排出削減**に貢献。



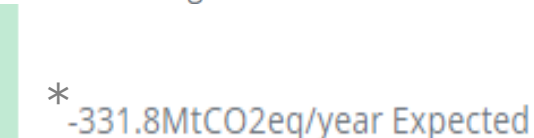
People with improved food security



Beneficiaries of better climate risk resilience



Greenhouse gas emissions



*GHG排出量はプロジェクト承認時の将来のネット排出影響のため、実績値なし

IFCの農業・食品分野支援/脱炭素の取組

- IFCポートフォリオ全体で、70億ドルの支援を50カ国以上で展開。
- FY20-25の5年間で130億ドルの長期融資、2億ドルのアップストリーム&アドバイザリーサービスを実施。
- 農場から食卓まで：バリューチェーン全体における幅広い支援と各段階での脱炭素支援



投入資材

- 肥料・種子等の投入資材の効率化
- 金融・サプライチェーンを通じた安定供給支援



一次生産

- 気候スマート農業、再生型農業
- 土壌、水の効率化、農地のレジリエンス向上



一次加工

- 製粉・精米・圧搾・破碎等における加工の効率化
- 省エネ設備、再生可能エネルギー、GHG排出削減の導入
- 品質管理による食品ロス削減支援



二次加工

- 保管・倉庫・コールドチェーン・物流の改善支援
- 小売・外食産業の食品ロス削減

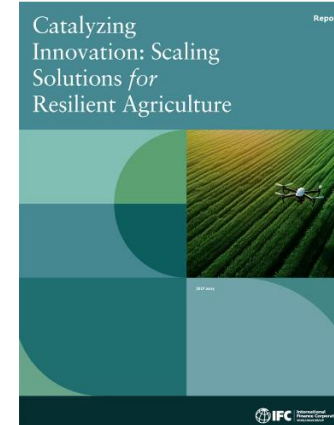


流通・小売

IFCの農業イノベーションの普及に関するレポート (2025)

<https://www.ifc.org/en/insights-reports/2025/catalyzing-and-scaling-innovations-for-resilient-agriculture>

- 農業技術をR&D段階から、実証・商業化・農家レベルでの普及を進めるための課題を整理。
- 畜産メタン削減、気候耐性作物、微生物肥料を重点領域**として位置づけ。
- 普及には、現地実証、農家へのインセンティブ、普及指導、リスクシェア、民間資金動員が必要。
- 有望技術をIFCクライアントの農場、サプライチェーンで実証し、投融資・アドバイザリーに組み込むことが重要。



IFCの
支援アプローチ

投融資



アドバイザリー



民間資金の呼び込み



譲許性融資
ブレンデッドファイナンス



+ IFCのネットワークを通じた途上国企業への日本企業の技術/ソリューション展開の機会創出

Debt/LTF: São Martinho, ブラジル(2025)

- ブラジルの砂糖・エタノール・再生可能エネルギー企業のSão Martinho S.A.に対して、最大1.65億ドルの10年ローンを提供。
- 同社のアグリビジネス分野での脱炭素支援を目的としてサトウキビ由来の副産物（ビナス）を使った初のバイオメタンプラント建設を支援。
- バイオメタンは、サトウキビ処理後に発生する副産物をバイオ消化して生産される再生可能な天然ガス。主な用途はトラクター、トラック、灌漑ポンプなどの農業機械。
- 併せてサトウキビ畑の改良・作物処理を支援し、持続可能な農業生産性の向上とバイオメタン原料供給の強化につなげる。



Equity/PCM: BTG Pactual, ブラジル(2024)

- BTG Pactual 子会社でのTIMO（森林投資管理組織）のTimberland Investment Group（TIG）における「持続可能な林業戦略」の支援のため資金調達を支援。
- IFCは、TIGの林業投資戦略を支援するため、総事業費1.2億ドルの一部として0.5億ドルを出資し、全体で10億ドル規模の資金動員を後押し。
- IFCとの提携により、プロジェクトの環境面での信頼性が高まり、持続可能な森林管理における国際的なベストプラクティスの遵守、途上国への民間資金動員を促進。
- 日本企業ではMOL、東京海上が同プロジェクトに参画。



Debt/SCF: Nestrade, Global (2024)

- ネスレの完全子会社であるNestrade S.A. に対し、GTSFプログラムの下で1億ドルのサプライチェーン・ファイナンス・ファシリティを提供。
- IFCは、Nestradeがブラジル、コロンビア、ケニア、エチオピアのコーヒーサプライヤーに対して負った米ドル建ての請求書を割引価格で買い取り、サプライヤーへの運転資金へのアクセス、サステナビリティ基準への対応を改善。



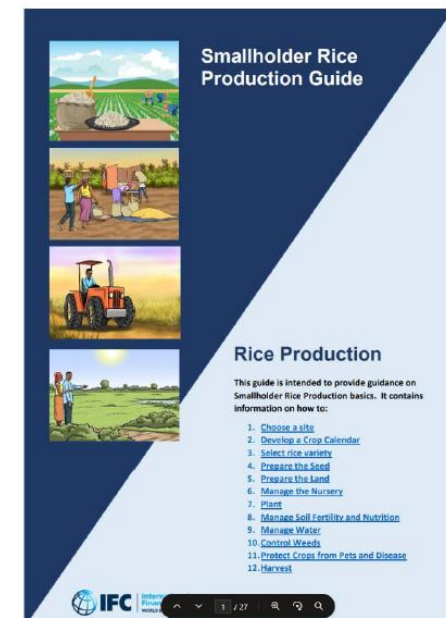
Global Trade Supplier Finance (GTSF)

- 国内外のバイヤーに輸出するサプライヤーに対し、バイヤーの承認後に請求書の割引により短期融資を提供。**GTSFの金利を、サプライヤーのE&Sスコア、低炭素投資の実施状況に応じて設定できる仕組みにすることで、サプライヤーのE&S改善における金銭的なインセンティブを提供。**



Advisory: Olam Rice, インド (2025)

- 三菱商事が出資する大手アグリビジネス企業Olam社に対し、持続可能な稲作の普及を目的とした、6,000万ドルのアドバイザーサービスを提供。
- 水の利用効率化に関する手法や技術等、気候スマート農業の農法導入のため、小規模農家/普及員に対する研修用のデジタル学習アプリ、トレーサビリティ支援用のデジタルプラットフォーム構築や、女性農家/普及員を対象とした研修を実施。
 - ✓ 研修を受けた小規模農家：10,000人
 - ✓ 農業用水の利用効率向上：20%



IN PARTNERSHIP WITH
JAPANGOV
THE GOVERNMENT OF JAPAN

GAFSPを通じた農業支援/脱炭素関連の取組

- **GAFSP (The Global Agriculture and Food Security Program)** は、世界で最貧国の食料と栄養の安全保障を向上させることを目的とした多国間パートナーシップ・資金調達プラットフォーム。
- IFCは**GAFSPのPrivate Sector Window**を通じて協力。IDA（国際開発協会）対象の低所得国*に対し、ブレンデッドファイナンスや譲許的資金を用いて、リスクが高く商業的な資金調達が難しいプロジェクトに投融資を通じて小規模農家関連プロジェクトを支援。
- 資金提供だけでなく、IFCを通じたTAおよびアドバイザリーサービス、企業や農家を対象とした、生産性向上と基準強化のための現場研修も実施。

*IDA国：GNI per capita \$1,325未満の国。アフリカを中心とした78カ国が対象（2026年2月時点） <https://ida.worldbank.org/en/about/borrowing-countries>

GAFSP PSW 2025年度実績

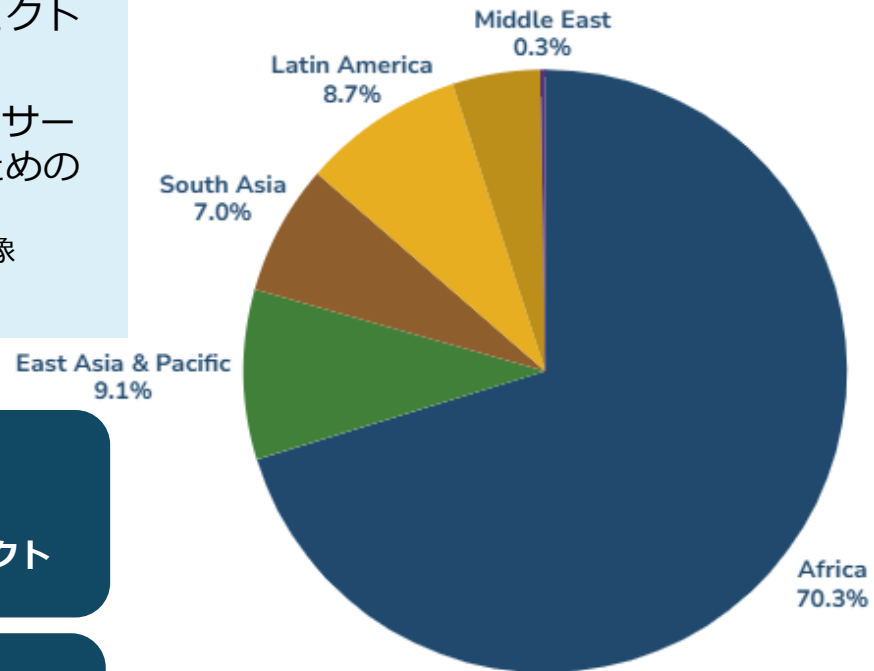
投融資
5.05億ドル
29か国で93件のプロジェクト

アドバイザリー
5,400万ドル
35カ国で106件のプロジェクト

PSWで支援した女性累計
351,700人

PSWで支援した農家累計
2,100万

地域別ポートフォリオ、プロジェクト実施中の国一覧



INVESTMENT SERVICES	ADVISORY SERVICES
Bangladesh	Burkina Faso
Cameroon	Cambodia
Côte d'Ivoire	Côte d'Ivoire
Ethiopia	Democratic Republic of the Congo
Honduras	Ethiopia
Kenya	Global
Kosovo	Guyana
Liberia	Haiti
Madagascar	Honduras
Malawi	Madagascar
Mali	Malawi
Mozambique	Mali
Nepal	Nepal
Nicaragua	Nicaragua
Nigeria	Pakistan
Rwanda	Sierra Leone
Senegal	Tanzania
Tanzania	Uganda
Zambia	Zambia

出所：GAFSP <https://www.gafspfund.org/Private-Sector-Window>

Blended Finance: Johnvents Industries Ltd., ナイジェリア(2024)

- カカオ加工事業を拡大のため、Johnvents Industries 社に対し合計2,330万ドルの融資パッケージを提供。
(IFC:850万ドル、IDA PSW:630万ドル、GAFSP:850万ドル)
- カカオ加工能力を1日最大120トンへ拡大し、農家の安定した収入確保に貢献。
- 非効率なディーゼル発電機と木質燃料ボイラーを、天然ガスを使用した高効率発電システムに置き換え、GHG排出量の削減につなげる。
- 同社の従業員構成およびバリューチェーン全体における女性参画を促進するためのアドバイザリーサービスも提供。



Food Loss Impact Tool

<https://www.gafspfund.org/ifcs-food-loss-impact-tool>

- GASFP、オランダ政府の支援を受けてIFCが開発した、食品ロス削減案件のGHG削減、食糧安全保障、資源効率、生物多様性への効果を定量化するツール。
- IFCの投資・アドバイザリー案件において、作物・食品ロスに伴うGHGの削減、投入資材の節約、生物多様性への恩恵、食料安全保障への影響等を推定。
- 対象は50種類の品目と117カ国。

